

中学生海外派遣事業について

【概要】

令和元年12月に、米国ワシントン州グラント郡と友好交流及び相互協力に関する覚書を締結しました。それに伴い、グラント郡との交流を深めるとともに、中学生が海外でホームステイや学校訪問などを通じ、国際感覚を体験することを目的とし、令和2年に中学生相互交流事業を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。

中学生海外派遣につきましては、友好都市との親善と、次代を担う中学生のため、継続して実施していく予定であり、令和5年度につきましては、今後の新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、実施できると見込み、令和5年5月に派遣するため、補正予算を計上するものです。

【友好のきっかけ】

2016年、県営名古屋空港とグラントカウンティ空港が『姉妹空港提携』、そして愛知県と、グラント郡が属しているワシントン州とで『友好の覚書』を締結したご縁から、愛知県による紹介のもと、小牧市とグラント郡との『友好の覚書』を結ぶこととなりました。

【日程】

令和5年4月30日～5月6日（5泊7日）

【派遣人数】

市内中学生10名及び教育長、引率教諭2名、随員職員1名、
添乗員兼通訳1名（計15名）

【活動内容】

グラント郡でのホームステイや学校訪問、及びシアトル郊外のボーイング
社工場見学など

【予算額】

10,166千円（R4）7,934千円（R5）2,232千円

【今後のスケジュール】

- 12月頃：生徒募集（作文を添えて申し込み）
- 1月頃：生徒決定（申し込み多数の場合は抽選）
- 2月頃～：事前研修（4回程度を想定）

参考

アメリカワシントン州グラント郡の概要

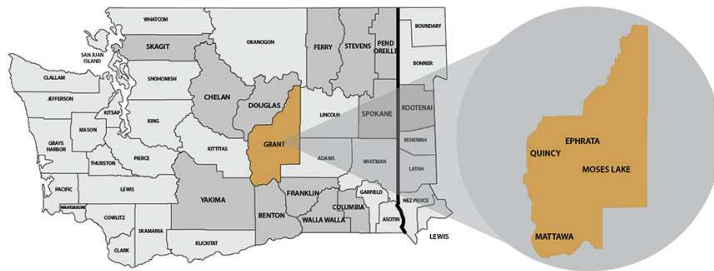
人口：100,297人（2021年）

※ united states census より

面積：7,228.7 km²

(参考)愛知県 5,172.9 km²

小牧市 62.8 km²



アメリカ合衆国ワシントン州のシアトルから東に約 280km に位置し、郡庁グラント郡の所在地は Ephrata（エフラタ）。人口最大の都市はモーゼスレイク市（人口約 2 万人）である。

グラント郡には 14 の湖と 13 の市町、コロンビア川があり、灌漑前の様子が垣間見られる砂丘や白亜紀の地層が露出した荒野がある。

グラント郡には 14 の湖と 13 の市町、コロンビア川があり、灌漑前の様子が垣間見られる砂丘や白亜紀の地層が露出した荒野がある。

「日本との関係」

1967 年 日本航空がグラント郡国際空港をボーイング 747 のパイロット訓練の場として訓練場を開設

1974 年 テレビドラマ『白い滑走路』の舞台となった

2016 年 三菱航空機がスペースジェット（旧 MRJ）の試験飛行を開始

2016 年に県営名古屋空港はグラント郡国際空港と『姉妹空港提携』を締結。同年に愛知県とグラント郡が属しているワシントン州は『友好交流及び相互協力に関する覚書』を締結した。

「気候」 ※年間を通じて乾燥状態である。

[夏] 気象：暑く、ほぼ晴れ。気温：(最高) 27℃～33℃ (最低) 10℃～16℃

[冬] 気象：凍えそうに寒く、一部曇り。気温：(最高) △1℃～4℃ (最低) △7℃～△1℃

「小牧市との友好の経緯」

日時	内容
H30.1月23日	愛知県より米国ワシントン州グラント郡が交流希望しているとの打診あり。
H30.4月10日	グラント郡より、モーゼスレイク港 デイビッド・ケント・ジョーンズ長官、ビッグバンドコミュニティカレッジ ブライス・ハンフリーズ副学長ら 5 名が来訪され、グラント郡について説明を受け意見交換を行う。
H30.12月4日	グラント郡より、グラント郡 トム・テイラー長官、モーゼスレイク港 デイビッド・ケント・ジョーンズ長官、モーゼスレイク教育学区キャロル・メイヤー 副長官、ビッグバンドコミュニティカレッジ ブライス・ハンフリーズ副学長ら 8 名が来訪され交流の内容など意見交換を行う。その後、抹茶の呈茶や、小牧山、消防署を見学。
R1.5月12日 ～17日	地域活性化営業部部長、教育委員会主幹ら 3 名による視察。交通、環境、治安などの現地調査と、児童・生徒や農商工業などの交流について意見交換を行う。その後、友好交流について、グラント郡をはじめ関係者と協議調整を進める。
R1.12月18日	グラント郡より、グラント郡 シンディ・カーター長官、モーゼスレイク港 デイビッド・ケント・ジョーンズ長官、ビッグバンドコミュニティカレッジ ライス・ハンフリーズ副学長ら 7 名が来訪され、小牧市と米国グラント郡との『友好の覚書』を締結。

